

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通安全啓発・指導事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	01	02	01	13	02	02
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課		道路管理課			
				主管課長		遠藤 茂			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内保育所（園）児、幼稚園児、小・中学生、高齢者を中心とした全市民	意図	交通事故の撲滅
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の撲滅を図るため、街頭指導や自転車安全利用促進運動及び広報啓発活動の実施。 保育所（園）児、幼稚園児及び小・中学生、高齢者を対象とした交通安全教室の実施。 			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和47年4月1日から交通事故を減少させるため、交通安全運動期間に併せ、各種啓発活動を現在まで実施している。事業開始当初は児童の安全確保や高齢者の事故対策が中心であったが、近年は、自転車利用者のルールやマナーの低下により、自転車事故が増加の傾向にあるため、平成27年6月1日に自転車の運転による交通の危険を防止するための講習に関する規定が整備された。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		交通安全教室受講人数（幼児、児童、高齢）	3,998	3,302	3,191	人	
	自転車安全利用推進運動の実施	12	12	12	回		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						・交通事故防止のため、特に幼児、児童、高齢者に対して機会があるごとに交通安全への意識高揚に努めているが、高齢者人口の増加に伴い、高齢者が係る事故が増加の傾向にある。また、自転車運転法規違反やマナーの低下が事故に繋がるケースが多い。今後更に交通事故を防止するための啓発活動の推進を図る。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,666,321	6,107,909	5,236,423			
事業費(b)(円)		4,188,621	2,857,309	3,218,523			
うち一般財源		4,188,621	2,857,309	3,218,523			
職員給与費(c)(円)		3,477,700	3,250,600	2,017,900			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.20			
人役・再任用(人)		0.30	0.10	0.20			
人役・臨職(人)				0.10			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 警察署、交通安全協会、自治会、学校関係団体、交通安全母の会等と連携し、自転車利用者に対する交通安全教育を強化する。 	取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 協力団体の高齢化が進んでいるため、作業の効率化と後継者の育成が求められる。
今年度(H28)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策基本法の定めにより、国及び県の上位計画に基づき、第10次流山市交通安全計画を策定した。 	今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 第10次流山市交通安全計画に基づき、関係団体との更なる連携の強化と広報活動を積極的に行うことにより、交通事故の撲滅を図る。